



日本共産党
西宮市議会議員

2020年2月25日発行
【共産党議員団控室】六湛寺町10番3号
(TEL)0798-35-3368 (FAX)0798-22-7815
(携帯)090-7764-0743

ひぐち光冬

通信
Vol. 24

市の新年度予算案 発表



新年度（2020年4月～2021年3月）は
「オープン」・「スマート（合理性）」・「リアル（信頼性）」
を柱にした“行政経営改革”に取り組みます！

2月19日より西宮市の3月議会が始まりました。3月議会は新年度の予算が審議される重要な議会です。私たち議員は市が何に・どのようにお金を使おうとしているのかしっかりとチェックせねばなりません。

市が発表した新年度予算案は右表の通り。阪神淡路大震災直後を除き、過去最大規模の予算となっています。幼児教育・保育の無償化の影響や保育所等の待機児童対策などにより子育て支援関係の予算が大幅な増となっているほか、第二庁舎（危機管理センター）の整備や学校施設の建替えなど公共施設の更新に係る費用が大幅な増となっています。

		前年度比
一般会計	1930億8056万円	+4.9%
特別会計	886億4166万円	+1.2%
企業会計	474億2227万円	-0.1%
合計	3291億4449万円	+3.1%

また、市長は“行政経営改革”すなわち“役所のあり方改革”を強く押し出しています。中でも特に「スマート」（ICTなど科学技術の活用や民間委託）が目立ちます。「財源捻出が主目的ではない」と言うものの、住民サービスが低下しないよう注視していかねばなりません。

＜共産党議員団の代表・一般質問＞

2月26日(水) 2時40分頃
まつお正秀(代表質問)

1. 行政経営改革について
2. 平和・人権行政について
3. 環境問題について
4. 子育て支援について
5. 高齢者交通助成について
6. 国民健康保険について
7. 農業の振興について
8. 市立中央病院跡地について

※代表質問は3月議会のみで、各会派の代表者が90分の質問をします

3月2日(月) 1時30分頃

ひぐち光冬

1. 学校制服の選択自由化と誰でもトイレの設置について
2. 地球温暖化対策について

3月3日(火) 1時40分頃

佐藤みち子

1. 保育所保育指針に基づく保育所の現状と課題について
2. 公立保育所の民間移管計画は撤回せよ
3. 名神湾岸連絡線について

要求実現

地域の孫の手奮闘中



Q. 建石筋の歩道がガタガタ…。直せない？

A. 道路補修課に依頼し修繕してもらえることに！

Q. 生活保護の申請したいけど不安で…。

A. 同伴し、無事受給！

※議員はただの安心材料。結果が変わるわけではありません。

Q. 相続の関係で司法書士を紹介してほしいんだけど…。

A. 繋がり活かし、即ご紹介！

Q. 私道を補修してほしいんだけど…。

A. 1度だけなら市の負担で私道を補修する制度があります。が、依頼の私道は制度を使用済みでした(><)

Q. 年金がもらえないのはなぜ？

A. 受給のためには10年(120カ月)以上の加入が必要です。日数不足でした。

Q. バスが通る度に家が揺れる…。どうにかできない？

A. 調査依頼し対応検討中！

あなたも“かゆ〜いところ”がございましたら、遠慮なく地域の“孫の手”ひぐち光冬まで。

090-7764-0743

mitsufuyu214@gmail.com

もしよければ「ひぐち光冬のブログ」もぜひ！通信には書き切れない情報を載せています！



東京視察レポート②

★制服の選択自由化（世田谷区）★



世田谷区では子どもたちの権利を尊重し、2019年度より区内29校すべての中学校で制服を自由に選べるようにしました。左の写真のように3種類の制服を用意し、男子であれ女子であれ好きなタイプを選んでいいよということにしています。

これは主にLGBTの子どもたちへの対応として始められたことですが、LGBTではなくても単に寒いからとかキズを見られたくないからとか様々な理由でスラックス（ズボン）を履きたいと思っている女の子はたくさんいます。そのようなことも踏まえ“選べないのはおかしい”ということで、選択自由としました。

もっともだと思います。大人の女性だってスラックスを履いている人はたくさんいます。なのになぜ中高生はスカートを強制されなければならないのでしょうか？私はこの取り組みは西宮市でも早急に導入すべきだと思い、3月議会の一般質問で取り上げることにしました。

現在西宮市では苦楽園中学のみが選択自由化を取り入れています。LGBT当事者からの訴えがあったからです。しかし、他校には訴えることができず、自分にそぐわない制服を苦しみながら着続けている子どもたちが少なからずいます。子どもたちの当たり前の権利を守るために、頑張ります！